

## 第28回高岡市民美術展

会期／令和4年6月25日(土)～7月9日(土)

高岡市で創作活動を行う人たちを対象とした公募展。絵画Ⅰ(日本画)、絵画Ⅱ(洋画)、彫刻、工芸、書、写真の6部門の入選・入賞作品、および招待作品をあわせて約400点展示します。  
[観覧無料]

## 第51回高岡市芸術祭 高岡市美術作家連盟展

会期／令和4年12月15日(木)～12月20日(火)

高岡市を中心に活動する美術作家の団体展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門にわたり、会員作品を展示します。  
[観覧無料]

## 第9回クリエイティブ・たかおか

～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～

会期／令和4年12月25日(日)～令和5年1月22日(日)

市内小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の児童・生徒が制作した作品を展示します。子どもたちのよさを引き出し、高岡の魅力を発信する展覧会です。また、当館収蔵作品を楽しく鑑賞できるコレクション展示も行います。  
[観覧無料]

## 富山大学芸術文化学部 大学院芸術文化学研究科 卒業・修了研究制作展－GEIBUN14(仮称)

会期／令和5年2月～3月(予定)

[観覧無料]

※名称、会期等は多少変更になることがあります。  
※2Fビコレギャラリー(コレクション展)は現在休室中です。  
高岡市美術館2F「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」の展示については、同ギャラリー(TEL0766-20-1170)へお問い合わせ下さい。

### ご来館に際しての感染防止対策のためのお願い



高岡市美術館HP

新型コロナウイルス感染防止対策を行いながらの開催となります。開催状況や防止対策については、あらかじめ当館ホームページでご確認いただくか、お問い合わせのうえご来館ください。会場内の混雑緩和のため入場をお待ちいただく場合がございます。

### 高岡市美術館 友の会会員募集中

お問い合わせ：0766-20-1177 <https://www.e-tam.info/tomo/>

### 開館時間 休館日

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
毎週月曜日(月曜日が祝・休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日から1月3日)  
※8月15日(月)は臨時開館します。

### 観覧料

展覧会によって異なります。  
[観覧料の減免](当日券に限る)  
■小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の児童・生徒は、土曜・日曜・祝・休日に限り企画展観覧料20%割引  
■65歳以上の一般個人の方は、企画展観覧料20%割引  
■身体障がい者、精神障がい者保健福祉・療育などの各種手帳をお持ちの方および付き添いの方(1名)は企画展観覧料が半額

### 交通の ご案内

北陸新幹線新高岡駅より  
●タクシー約10分  
高岡駅より  
●徒歩約20分(北東約2km)  
●JR氷見線「越中中川駅」下車、徒歩2分  
●万葉線「広小路」電停下車、徒歩10分  
●富山地铁バス・富山駅前「中川」下車、徒歩2分  
自動車で  
●能越自動車道 高岡北ICから約15分、高岡ICから約20分  
●北陸自動車道 小杉ICから約20分、  
高岡砺波スマートICから約20分  
※高岡市美術館地下駐車場(9:00～18:00)は、2時間まで駐車料金無料  
※高岡文化の森駐車場(屋外)は駐車料金無料



〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号  
TEL 0766-20-1177 FAX 0766-20-1178  
URL <https://www.e-tam.info/>



PROGRAM OF EXHIBITIONS  
展覧会のごあんない  
2022・4 - 2023・3



TAKAOKA ART MUSEUM

アニメーション美術の創造者

## 新・山本二三展

～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女～

会期／令和4年3月19日(土)～5月8日(日)



時をかける少女《洗い場》2006年 ©「時をかける少女」製作委員会2006

日本のアニメーションの世界を牽引してきたひとり、背景画家・美術監督の山本二三(1953年生まれ)。初期から最新作までの背景画やイメージボード、昨年完成披露された郷里を描くシリーズ《五島百景》の一部など、約200点を紹介します。「二三雲」と呼ばれる雲の表現をはじめ、手描きならではの魅力が光る背景画の世界をお楽しみください。

## 第61回日本伝統工芸富山展

会期／令和4年5月27日(金)～6月12日(日)

[高校生以下観覧無料]

## コレクションにみる 高岡の金工・漆芸

会期／令和4年5月27日(金)～6月12日(日)

[観覧無料]

写実

## リアルのゆくえ 現代の作家たち

生きること、写すこと

会期／令和4年7月29日(金)～8月31日(水)

近年、細密描写による写実があらためて注目されています。日本は近代化の過程において、西洋由来の写実を移入しましたが、対象を生きているように精巧に再現する写実表現は日本固有のものが存在します。現代の作家においても、そうした土着の感性と近代的なものが拮抗し、新たな写実を模索している姿勢が見出せます。

幕末から明治初め、見世物興行で本物と見まがう迫真表現で人気を博した松本喜三郎らの生人形。職人芸術、大衆芸術として美術とは峻別されながらも、西洋由来ではない写実を気付かせた存在として、高村光雲も生人形師を敬慕しました。そのほか高橋由一の油彩画、光雲や平櫛田中の彫刻、金工などを導入部とし、小谷元彦、深堀隆介、本田健、中谷ミチコなど現代作家による絵画や立体作品を通し、西洋の文脈のみでは捉えきれない日本の写実の系譜とそのゆくえを探ります。



安本亀八《相撲生人形》  
1890年 熊本市現代美術館蔵  
※部分展示となります。



深堀隆介《桜升 命名 淡紅》  
2017年 平塚市美術館蔵

## バンクシーって誰?展

会期／令和4年9月11日(日)～12月6日(火)

ストリートで表現を続けるアート界の異端児「バンクシー」。2018年、少女と赤い風船を描いた作品が高額落札されるや、額に仕込まれたシュレッダーで突如細断されるという事件が瞬く間に世界中で報道され、話題をさらいました。日本では、バンクシー作品と思われるネズミの絵が東京で発見され、大手メディアやSNSで拡散されて認知度が上がりました。しかし依然バンクシーは謎に包まれた存在です。本展では、バンクシーの作品でも知名度が高い「風船と少女」など、プライベートコレクター秘蔵の作品を展示予定。更に、ストリート作品に焦点を当てた没入型の街並み再現展示があり、この2つの要素で構成されます。



バンクシー《ラヴ・イズ・イン・ジ・エア》Love Is In The Air  
2006年 個人蔵

## カレンダー 2022(令和4年)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●企画展示室	3/19 アニメーション美術の創造者 新・山本二三展 ～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、 もののけ姫、時をかける少女～	5/8	5/27 6/12 第61回 日本伝統工芸富山展		7/29 8/31 リアル(写実)のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと				12/15 12/20 第51回高岡市芸術祭 高岡市美術作家連盟展			(予定) 富山大学芸術文化学部 大学院芸術文化研究科 卒業・修士研究制作展-GEIBUN14 (仮称)
●市民ギャラリー			5/27 6/12 コレクションにみる 高岡の金工・漆芸	6/25 7/9 第28回高岡市民美術展			9/11 バンクシーって誰?展		12/6	12/25 1/22 第9回クリエイティブ・たかおか ～未来に輝く 高岡市児童生徒作品展～		

●市民ギャラリー 貸展示スペースです。個展やグループ展等の開催にご利用いただけます。令和5年度のご利用については、令和4年12月28日(水)までにお申し込みください。

※名称、会期等は変更になることがあります。